

経営比較分析表（令和2年度決算）

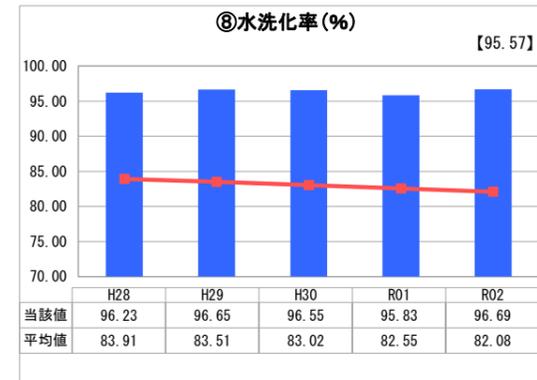
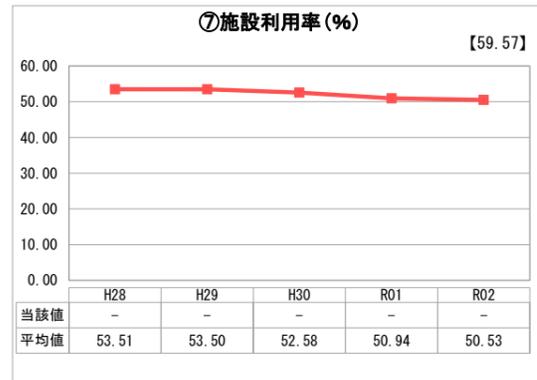
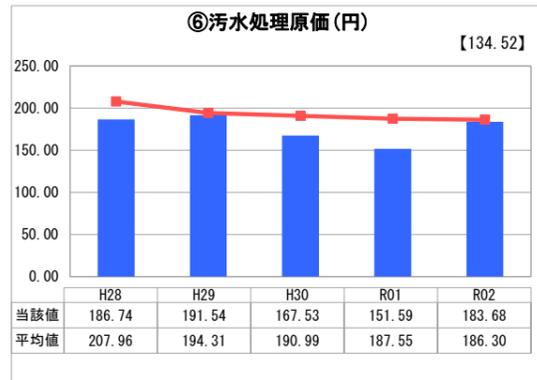
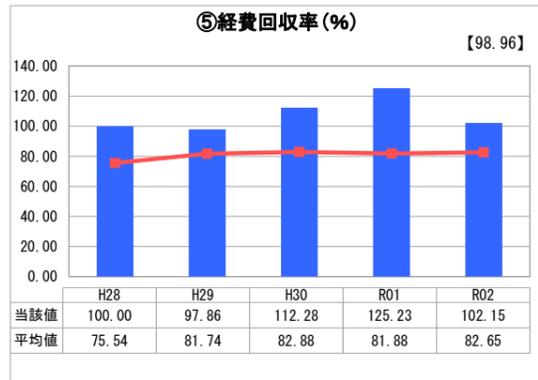
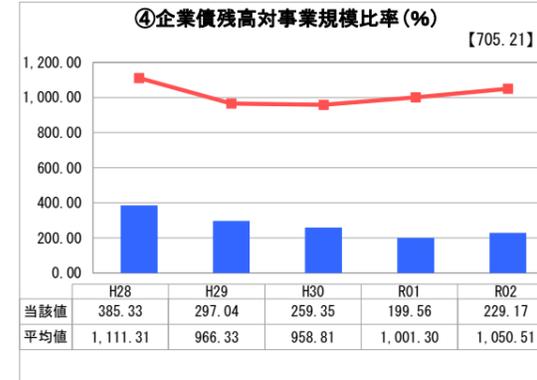
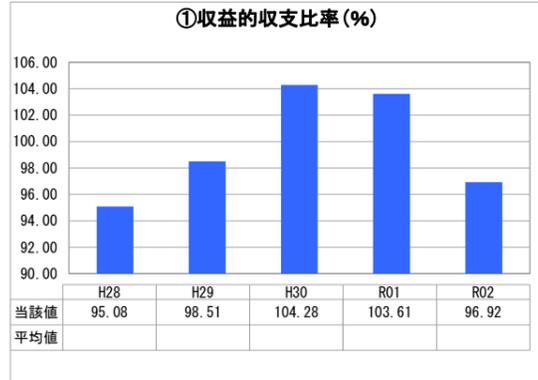
埼玉県 吉見町

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 公共下水道 | Cc2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 13.36 | 96.65 | 2,145 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 18,654 | 38.64 | 482.76 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 2,475 | 0.99 | 2,500.00 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値(当該値) |
| — | 類似団体平均値(平均値) |
| 【 | 令和2年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

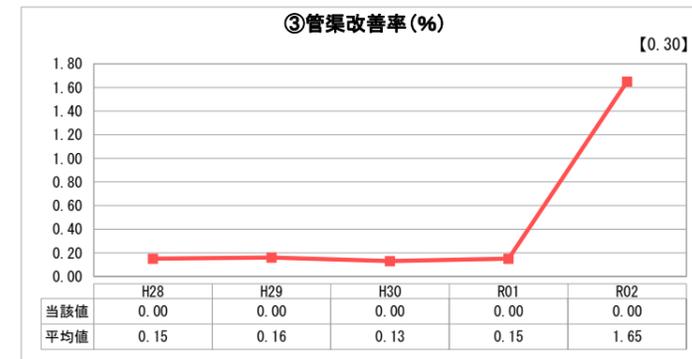
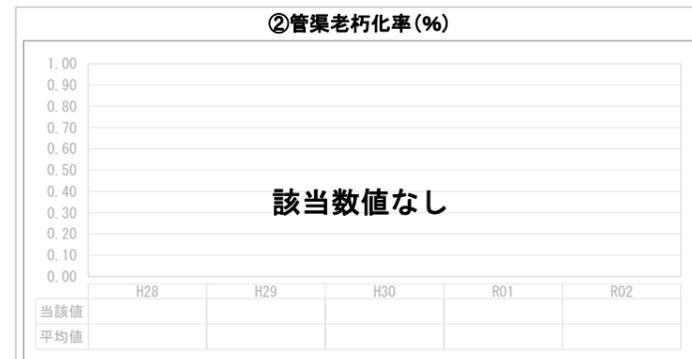
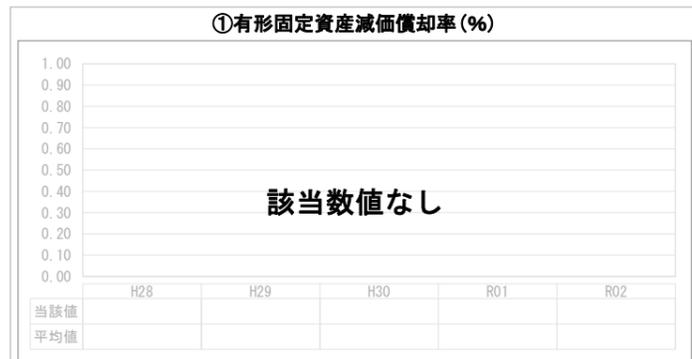
1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率
比率が100%を下回った。これは主に下水道使用料の減少による。新型コロナウイルスの感染拡大により、大口使用者の使用水量が減少したことによる。今後の経過を観察し、必要に応じて対策する。
- ④企業債残高対事業規模比率
減少傾向にあったものの、令和2年度は増加に転じた。これは主に使用料収入の減少により、営業収益が下がったためである。
- ⑤経費回収率
100%を超えているものの、増加傾向にあったものが令和2年度は減少に転じた。これは主に使用料収入の減少による。
- ⑥汚水処理原価
減少傾向にあったが、増加に転じた。増加の要因は主に有収水量の減少である。減少の要因は①に記載のとおりである。
- ⑧水洗化率
例年と同レベルで推移している。回覧及び戸別訪問により、接続率の向上を図っている。

2. 老朽化の状況について

現在のところ管渠等の老朽化は見られないが、20から30年後には管渠の老朽化が生じてくると思われる。これに備えて今後も経費節減に加え、計画的な施設の維持管理に努める。

2. 老朽化の状況



全体総括

使用料収入の減少により令和2年度は分析欄1のとおり、各指標に影響が生じた。今後も経費節減に加え、計画的な施設の維持管理に努め、効率的で安定的な経営を実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。